

☆年間計画作成に関する注意事項☆

社福 様式第1号
社会福祉施設における 転倒・腰痛防止 年間計画

取り組み期間 令和 年 4 月 1 日
令和 年 3 月 31 日

法人名称 施設名称 住所 電話番号

提出期日 令和 年 月 日

計画作成者 施設長 ○○○○(この計画の作成担当者)

法人全体の計画ではなく、施設ごとに計画書を作成して下さい。正社員以外の労働者の有無についても、○印をつけてください。

過去の災害発生件数などを参考にして、達成可能な目標として下さい。

記入例の中から実施可能な活動内容を選んで活動予定を計画して下さい。

計画作成時や、事業年度の1年間を、計画年度として下さい。(例：R6年○月～R7年○月)

生方針 転倒災害と腰痛災害へのリスクを事前に把握し、対策を整えてから業務を開始する。

生目標 ①転倒休業災害ゼロ、転倒不休災害(通院のみ)2件以内。
②新規の腰痛発症件数ゼロ(腰痛既往歴のある者を除く)

実施項目	具体的活動内容	活動予定(実施月)												評価	活動備考	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12						
転倒防止対策	4S活動の実施(整理・整頓・清掃・清拭)	○												必須項目		
	転倒防止のための「見える化」の実施	○												必須項目		隠れやすい箇所、改善、貼り・標識
	転倒防止教育の実施	○												必須項目		全職員対象
	通路や作業場所の床の水等の拭き取り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			隠れやすい箇所、
	屋外通路の除雪、融雪剤の散布	○														
腰痛予防対策	体操やストレッチなど体づくりの実施	○												必須項目		転倒防止対策の運用
	腰痛予防設備・器具の設置	○														安全担当
	介護技術(ノーリフトケア)の実施・検討	○												必須項目		介護担当
	腰痛予防のためのストレッチの実施	○														介護担当
	腰痛予防教育の実施	○														介護担当
安全管理強化	衛生委員会等の開催	○														毎月実施
	就業時・配置換時の教育の実施(正社員以外含む)	○												必須項目		新入・中途採用者対象
	職員ミーティングの実施	○												必須項目		新入・中途採用者対象
安全作業の確保	施設内の巡回、点検	○														
	安全に通行できる照明の確保	○														通路の確保を重点に実施する
	除雪車の定期点検と、有資格者の配置	○														ユーザーは必ず点検と有資格者の配置が必要
	熱中症予防対策の実施	○														エアコンの点検と作業場への設置等
健康管理対策	定期健康診断の実施	○												必須項目		総務担当
	深夜作業労働者健診の実施	○														総務担当
	ストレスチェックの実施を含めたメンタルヘルス対策	○														100%実施目標
	長時間労働防止対策(36協定範囲内の時間管理)	○												必須項目		月の時間外労働時間以内
	新型コロナウイルス、インフルエンザなど、各種感染症予防対策の実施	○														介護責任者
	労働喫煙防止対策の実施	○												必須項目		総務担当
その他の活動	交通安全運動の取り組み	○														総務担当
	火災予防運動の取り組み	○														総務担当

転倒防止対策については、記入例を参考に、4項目以上は活動内容に入れるよう計画して下さい。

評価欄は、様式下に記載している◎△×の記号を入れて、次年度計画の参考にして下さい。

可能な限り、設備や器具の導入を検討して下さい。なお、**ノーリフトケアの実施・検討は必須です。**(保育施設等除く。)

腰痛予防対策については、記入例を参考に、2項目以上は活動内容に入れるよう計画して下さい。

ぜひ、ご検討下さい
保育施設等を除く

労働者50人以上義務

50人未満でも準じた形で会議を開催しましょう。

対象者いれば義務

労働者50人以上義務

赤い矢印の必須項目は、必ず年間計画の活動内容に取り入れて下さい。

黄色矢印の項目については、対象事業場は必ず年間計画の活動内容に取り入れて下さい。

2023年度を初年度とする第14次労働災害防止計画の策定を踏まえ、昨年度から様式を一部変更しております。お手順をお掛けしますが、本様式での報告をお願いいたします。